

## 平成 31 年 3 月期 第2四半期決算発表 (参考資料)

## 連結決算

## 1. 第2四半期業績の推移

(単位:百万円)

	29年3月期	30年3月期	31年3月期	
	実績	実績	実績	対前期 増減率(%)
連結子会社	21社	21社	21社	
営業収益	22,016	23,152	24,451	5.6
営業利益	654	627	890	41.9
経常利益	697	651	918	40.9
親会社株主に帰属 する四半期純利益	470	422	570	35.2

【営業収益,営業利益,経常利益,  
四半期純利益,すべて過去最高額】

過去最高実績

(第2四半期)

(単位:百万円)

営業収益	30年3月期	23,152
営業利益	28年3月期	724
経常利益	28年3月期	766
親会社株主に帰属 する四半期純利益	28年3月期	515

## 2. 通期の業績予想

(単位:百万円)

	28年3月期	29年3月期	30年3月期	31年3月期	
	実績	実績	実績	予想	対前期 増減率(%)
連結子会社	21社	21社	21社	21社	
営業収益	44,267	44,478	46,858	50,000	6.7
営業利益	1,503	1,426	1,455	1,750	20.3
経常利益	1,580	1,519	1,525	1,800	18.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,123	1,224	986	1,200	21.6

## 【営業収益,営業利益,経常利益,過去最高を目指す】

過去最高実績

(通 期)

(単位:百万円)

営業収益	30年3月期	46,858
営業利益	28年3月期	1,503
経常利益	28年3月期	1,580
親会社株主に帰属 する当期純利益	4年3月期	1,801

## 【第2四半期業績】

- ①トラックによる企業間輸送を主とする「輸送サービス部門」では、
- ・適正な水準への運賃改定と諸料金の収受に向けた営業活動の結果、約8億円の増収に寄与した。
  - ・総合ディスカウントストアへの店舗配送業務の拡大等で、輸送貨物量が増加した。
- ②商品保管や物流加工を行う「物流サービス部門」では、
- ・大手流通グループ専門店での販売不振が続き、加工業務の取扱量が減少したが、飲料・自動車関連部品・夏冬タイヤ等、他業種の保管業務が増加し、前年並みの収入を確保した。
- ③大型商品等の個人宅配を行う「ホームサービス部門」では、
- ・猛暑によるエアコン販売数量の大幅増加と、ユニック車を活用した配送・設置業務の拡大に加えて、配送料金の改定があり、増収となった。
  - ・引越サービスの拡大については、「スロー引越便」のPRステッカーをエスライングループの車両に貼り付けた。「引越研修センター」での実技訓練、社内Webサイト「SL-PORTAL」での引越しや大型商品配送時の作業手順、及び、留意点を紹介する動画を配信する等、作業の質的向上を図った。

この結果、第2四半期連結累計期間の営業収益は、244億51百万円(前年同期比5.6%増)2期連続の過去最高額となった。利益面では、貨物輸送量の増加に対応するための、備車費・外部委託費・支払中継料が増加したことに加えて人件費及び、軽油価格の上昇により燃料費等が増加したものの、営業収益の伸びが大きく、営業利益8億90百万円(前年同期比41.9%増)、経常利益9億18百万円(前年同期比40.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億70百万円(前年同期比35.2%増)の結果となり、すべての利益が過去最高額となった。

## 【下期に向けた取り組み】

- ①輸送サービスの営業展開
- ・適正運賃に向けた運賃改定と諸料金収受に向けた営業活動を継続する。
  - ・新築移転した㈱エスラインギフ西淀川支店の新施設を最大限に活用し、売上拡大を図るとともに、集配エリアの見直しや構内作業の改善活動を実践し、売上・利益を確保する。
- ②物流サービスの営業展開
- ・11月に竣工・稼働した㈱スロー急送の新物流センターでの、保管・物流加工業務を軌道に乗せる。(更なる営業強化と構内作業の効率化に向けた改善活動に取り組む)
- ③ホームサービスの営業展開
- ・人員不足への対応策として、採用窓口の拡大と社内教育の充実、並びに、協力会社の開拓を行う。
  - ・「引越研修センター」を活用し、営業面での研修と作業品質の維持向上に努める。
- ④その他の取り組み
- ・環境に配慮した「電気小型トラック(3トン車)」を5台導入。岐阜・名古屋地区での集配業務やルート配送に使用する。

## 3. 設備投資と減価償却費の状況

(単位:百万円)

	30年3月期		31年3月期			
	通期実績	対前期 増減率(%)	第2四半期 実績	対前期 増減率(%)	通期予想	対前期 増減率(%)
設備投資	1,284	△ 46.7	1,751	440.0	2,949	129.5
減価償却	1,638	9.9	814	△ 1.2	1,674	2.2

※主な設備投資の状況(車両以外)

豊田第2物流センター(10月:㈱エスラインギフ)  
西淀川支店新築(10月:㈱エスラインギフ)  
本社物流センター(11月:㈱スロー急送)

## 4. 来期の設備投資計画

- ①㈱エスラインギフ:飲料保管自動倉庫を建設(住所:羽島郡岐南町 稼働日:2019年10月 投資額:17億円)  
②㈱エスライン郡上:移動式ラック付定温管理倉庫を建設(住所:郡上市八幡町 稼働日:2019年5月 投資額:4億円)